

令和5年度第1回

アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会 総会 議事録

【日 時】 令和5年（2023年）6月6日（火） 9：30～ 9：50

【場 所】 ホテル札幌ガーデンパレス（北海道札幌市中央区北1条西6丁目） 2階 白鳥

【議 事】 第1号議案 令和4年度事業報告、決算及び監査報告について

第2号議案 令和5年度事業計画及び予算について

第3号議案 実行委員会規約の改正について

(事務局(北海道)／山崎観光振興監)

- ・定刻となりましたので、ただ今から、令和5年度第1回アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会総会を開催いたします。本日はお忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます、北海道観光振興監の山崎です。本日はよろしく願いいたします。
- ・本日の総会でございますが、委員23名中、8名の代理参加を含め全23名のご出席をいただいておりますことをご報告いたします。
- ・それでは、開会に当たりまして、アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会の会長であります、北海道知事の鈴木より、ご挨拶申し上げます。

(北海道／鈴木知事)

- ・皆さん、おはようございます。会長を務めさせていただいております鈴木でございます。本日は、大変お忙しい中、お集まりをいただきました。本当にありがとうございます。
- ・いよいよ、アジア初となるアドベンチャートラベル・ワールドサミットのリアル開催まで、あと100日を切ったということになります。皆様には、それぞれのお立場で、開催に向けて、お力添えをいただいておりますことに、改めてこの場をお借りして心から感謝を申し上げます。
- ・一昨年前はコロナ禍により悔しい思いもあった訳ではありますが、皆様のお力添えをいただいて、バーチャル開催についても高い評価をいただいたところであります。9月のリアル開催に向けた期待が非常に高まっております。アドベンチャートラベル・ワールドサミットは、世界中からお招きする皆様に、北海道の魅力をPRしていくとともに、アドベンチャートラベルの機運を醸成する絶好の機会であります。
- ・北海道では、市場規模が70兆円を超えているアドベンチャートラベルを、観光の高付加価値化を進めるための大きな柱と位置づけております。アドベンチャートラベル・ワールドサミットの開催をきっかけとして、道民の皆様が自然や歴史・文化といった地域の魅力を再発見することにつながり、そして、その価値を評価する旅行者の方々を受け入れていく、という好循環を作り出し、アドベンチャートラベルという旅のスタイルを北海道に定着させていきたいと考えています。
- ・そのためにも、地域で活躍するガイドの方々の確保と育成に向けて、全国に先駆けて、新たなガイド制度をスタートすることとしております。お集まりの皆様はもとより、観光庁などの関係機関とも連携しながら、引き続き、オール北海道で、アドベンチャートラベルを推進

してまいります。

- ・本日の総会では、昨年度の取組の報告や、今年度の事業計画についてお諮りすることとしております。限られた時間ではありますが、皆様から忌憚のないご意見をお願いいたします。本日はよろしくご意見申し上げます。

(事務局(北海道)／山崎観光振興監)

- ・それでは、議事に入らせていただきます。議題1「令和4年(2022年)度の事業報告・決算及び監査報告」、議題2「令和5年(2023年)度事業計画及び予算」、議題3「実行委員会規約の改正」について、実行委員会事務局長を務めております、北海道経済部観光局アドベンチャートラベル担当局長の後藤より、資料に基づき、一括してご説明させていただきます。

(事務局(北海道)／後藤アドベンチャートラベル担当局長)

【第1号議案 令和4年(2022年)度事業報告、決算及び監査報告について】

- ・それでは、第1号議案「令和4年(2022年)度事業報告、決算及び監査報告」について、主なものを説明いたします。資料1-1をご覧ください。
- ・「各事業の内容」の1、「ATWS2023 実施計画作成」については、サミット開催に向けて必要な会場運営手法、提供する食事や招待者が宿泊するホテル等の検討を行い、本年のサミット実施に向けた準備を行いました。3「ATWS2022 出展」として、スイス・ルガーノにおいて次回開催地としての北海道・日本のPRを行うとともに、主催団体であるATTAとのミーティングを行い本開催準備に向けた意見交換を行いました。裏面になりますが、4「11月に行われたATTAの視察への対応や、5「ポストサミットアドベンチャーのコース造成」も4地域で行うなど、本開催に向けた各種準備を進めてきたところです。参考資料といたしまして、実行委員会メンバーによる取り組みも集約して掲載しておりますので、後ほどご覧ください。
- ・次に、「令和4年度の決算」ですが、資料1-2の決算書をご覧ください。先週行われた幹事会でもご承認いただいておりますが、収入の部は、前年度繰越金、自治体からの負担金収入、協賛金など。支出の部は、実施計画作成やATWS2022出展、ポストサミットアドベンチャー造成経費などを中心とする事業費に事務局経費が加わっております。収入・支出とも、予算額52,874,292円に対し、決算額55,318,831円となっております。
- ・次に監査報告ですが、先日、監事の北海道経済連合会様、北海道経済同友会様をご訪問させていただき、監査を行っていただきました。一括して私の方からご報告申し上げます。資料1-3の監査報告書をご覧ください。会計帳簿や関係書類等を調査していただいた結果、「事業報告」、「会計」、「その他付属書類」の内容について、両監事から適正であると認めていただきましたので、これをもちまして監査報告とさせていただきます。

【第2号議案 令和5年(2023年)度事業計画及び予算について】

- ・続きまして、第2号議案「令和5年(2023年)度事業計画及び予算」について、資料2-1をご覧ください。
- ・今年度はATWS2023の実施運営が事業の中心であり、会場運営、レセプションやPSA・DOAの開催などとともに、ホスト地域としての北海道・日本のPRを実行委員会各機関と連携して行うこととしております。また、ポストサミットアドベンチャー事業も、9月15日から18日までの期間中に4地域で行うなど、各種事業を行うこととしております。今年度においても、実行委員会だけでなく、各機関においてもアドベンチャートラベルを推進していく取組を進めていただいております。本資料の裏面以降に参考としてまとめておりますのでご覧

ただければと思います。

- ・ただ今ご説明した各種事業のうち、実行委員会が実施する事業予算については、資料2-2の「令和5年度予算案」をご覧ください。まず収入の部は、前年度繰越金、負担金収入、協賛金収入となっております。支出の部ですが、先ほどご説明した実行委員会事業として、ATWS2023の実施運営やポストサミットアドベンチャーなどに係る事業費予算、事務局経費などを計上しており、予算総額は収入・支出とも合計262,572,000円となります。

【第3号議案 実行委員会規約の改正について】

- ・最後に、第3号議案「実行委員会規約の改正」について、資料3の「ATWS 北海道実行委員会規約 新旧対照表」をご覧ください。実行委員会構成員の一部機関において、職名の変更がありましたことから、新旧対照表のとおり規約の別表を改正するものです。
- ・説明は以上になります。

(事務局(北海道)／山崎観光振興監)

- ・ただいま説明いたしました資料の内容につきましては、先月開催いたしました実行委員会幹事会において、ご承認をいただいているところでございますが、委員の皆様から、ご意見等ございますでしょうか。
- ・それでは、議事の1から3につきまして、ご承認いただけますでしょうか。
- ・ご異議なしと認め、全会一致でのご承認とさせていただきます。ありがとうございます。
- ・本日の議事は以上ではございますが、委員の皆様から、ATWS2023に向けた取組を含め、全体を通じてご発言等ございますでしょうか。副会長を務めておりまして、開催地となる札幌市の秋元市長、いかがでしょうか。

(札幌市／秋元市長)

- ・札幌市長の秋元でございます。アドベンチャートラベルは、北海道の広大な自然、独自の歴史・文化、食、世界レベルのパウダースノー等といった観光資源を十二分に活かすことのできる付加価値の高い旅行形態と認識しております。そのため、北海道・札幌の観光の持続的な発展に向けて、ATの重要性は高く、アドベンチャートラベル・ワールドサミットの北海道開催は、大きな意義があるものと感じております。
- ・今回のサミットでは、札幌コンベンションセンターがメイン会場となり、会期中の4日間、欧米豪を中心とする約800名の参加者の方々は札幌にご滞在いただきます。また、会期中には、大通公園ではさっぽろオータムフェストが開催されることをはじめ、参加者の皆様には、札幌で北海道・札幌の食や観光の魅力を体感いただく機会が多くございます。
- ・札幌市としましては、参加者の皆様をしっかりとおもてなし、ホストシティとしての役割を果たせるよう、皆様のご協力もいただきながら、ATWSの成功に向け、総力を挙げて準備に取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(事務局(北海道)／山崎観光振興監)

- ・秋元市長、ありがとうございました。
- ・同じく実行委員会の副会長でございまして、ポストサミットアドベンチャーの開催地である、旭川市の今津市長、いかがでしょうか。

(旭川市／今津市長)

- ・旭川市の今津でございます。旭川市は、2019年からユネスコ創造都市のデザイン分野、世界43都市ありますけれども加盟しております、全体では、文学・映画・音楽など世界で7分野295都市が加盟しております。その総会が去年、ブラジルのサントスでありまして、私も出席してきました。世界の市町村の方とお話をしている、「旭川市はどこにあるのか」と聞かれるものですから、「セントラル北海道」と言いますと、皆さん良く理解をしていただけます。鈴木知事をはじめとする、北海道の皆様が北海道ブランドの価値を高めていただいていることに心から敬意と感謝を申し上げます。
- ・これから、ウィズコロナからアフターコロナにフェーズが変わっていく時に、知事から話がありましたが、70兆円を超える経済規模でありますから、北海道で行われる意義は非常に高いものがあると考えております。
- ・旭川市は大雪山をテーマにポストサミットアドベンチャーに参画をさせていただきますので、サミット全体の成功、ひいては北海道の発展のために、しっかりと取り組んでまいります。山崎観光振興監をはじめ、事務局の皆様のご指導、よろしく願い申し上げます。

(事務局(北海道)／山崎観光振興監)

- ・今津市長、ありがとうございました。
- ・同じく実行委員会の副会長でございます、ポストサミットアドベンチャーの開催地である、帯広市の米沢市長、いかがでしょうか。

(帯広市／米沢市長)

- ・帯広市長の米沢です。アドベンチャートラベルは、十勝・帯広エリアにおいても、新たな観光需要獲得のチャンスと捉えております。
- ・9月のワールドサミットは、地域の自然や食、アウトドアアクティビティといった北海道の魅力を発信できる貴重な機会であります。また、ポストサミットアドベンチャーを通じて、十勝の開拓の歴史や文化に触れていただくよう、準備を進めているところです。
- ・アドベンチャートラベルに精通する方々と直接コミュニケーションを取ることができる貴重な機会となります。この機会を最大限に生かし、北海道、そして十勝の新たな旅の形態としてアドベンチャートラベルが地域に根づくよう、尽力して参りたいと思っております。

(事務局(北海道)／山崎観光振興監)

- ・米沢市長、ありがとうございました。
- ・同じくポストサミットアドベンチャーの開催地である、稚内市の川野副市長、いかがでしょうか。

(稚内市／川野副市長)

- ・稚内市副市長の川野と申します。市長の代理でご挨拶させていただきます。まずは、アドベンチャートラベル・ワールドサミットの開催に向け、事務局を担っていただいております、北海道庁様をはじめ、ここにおられる皆様方には、様々な準備にご尽力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。
- ・当地では、昨年、候補法人として登録された「きた・北海道DMO」が中心的な役割を担いながら、稚内・利尻・礼文エリアでの、ポストサミットアドベンチャーの実施に向け、現

在、その準備を進めています。北宗谷エリアは、来年、指定から50周年を迎える、利尻礼文サロベツ国立公園を中心に、美しく雄大な自然が広がっており、その中で行う、サイクリングなどの各種アクティビティについては、世界にも誇れる、魅力的なコンテンツであると考えています。

- ・本市としましては、このようなコンテンツをフックに、アドベンチャートラベルの推進に努め、旅行消費額の拡大に繋げていくとともに、ホスピタリティマインドの醸成を図りながら、旅行者に選ばれる観光地づくりを進めていきたいと考えているところです。
- ・今回のATWSの開催を契機に、北海道が世界でも有数のアドベンチャートラベルの目的地となれるよう、我々も努力してまいりますので、引き続き、ご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(事務局(北海道)／山崎観光振興監)

- ・川野副市長、ありがとうございました。
- ・それでは、最後になりますが、実行委員会の副会長でございまして、ポストサミットアドベンチャーの開催地である、釧路市・蝦名市長からも一言お願い申し上げます。

(釧路市／蝦名市長)

- ・釧路市の蝦名でございます。いよいよ本番が迫ってまいりましたが、皆さんと力を合わせ素晴らしいスタートを切りたいという思いでございます。
- ・振り返りますと国の観光立国政策において様々な政策が行われる中、2016年に長崎市、金沢市とともに、釧路市が観光立国ショーケースに選定され、その取り組みとして、このアドベンチャートラベルというものに釧路市の親和性が高いことに着目し、阿寒観光協会まちづくり推進機構が中心となり、同年アラスカで開催されたATWSへ参加し、その翌年にはATTAのシャノンCEOが来釧され、このエリアの素晴らしい自然などに高いご評価をいただいたことから、鈴木知事にお力添えをいただきながら、ATWSの開催に至ったという経緯があり大変感慨深いものがございます。
- ・2021年の北海道大会がバーチャル開催になったことは残念でしたが、すぐにリアル開催を迎えることが出来、関係者の期待の高さをあらためて感じますことから、しっかり進めていきたいと思っております。
- ・昨年、スイスのルガーノで開催されたATWSへ、北海道観光振興機構の小金澤会長とともに参加させていただき、一般的な商談会とは全く異なり、それぞれの地域のストーリーや価値観というものを非常に重視していることをあらためて強く感じてまいりました。
- ・今回の大会はゴールではなく、スタートという思いをもって進めてまいりたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

(事務局(北海道)／山崎観光振興監)

- ・蝦名市長、ありがとうございました。
- ・これにて本日の総会は終了させていただきます。本日はお忙しいところご参加いただき、ありがとうございました。引き続き、隣の「丹頂」の間において、10時よりトップパートナー発表会を開催いたします。続けてご参加いただける皆さまは、ご移動をお願いいたします。

(了)